



秋が深まり、寒さを感じる日も多くなって参りました。既にストーブやこたつを出したとの声も聞こえており、冬支度が少しずつ始まっています。そんな季節の移り変わりに伴って、感染症の危機も更に高まります。外出時は気を張りますが、気を抜かず自分の身を守るように心掛けたいものです。

### 会社を耕し、人材を育む

2号畑のご縁から3つ目の畑を借りることになりました。氏神様への参拝の折、夫婦でずっと気になっていたお宮前の畑です。なんと2号畑と同じ地主さんの土地で、空きが出たところにお話を頂戴しました。仕事と暮らしと野良仕事…と、既に時間のやりくりで四苦八苦ししている状態でやるのか散々悩んだ挙げ句、前向きな負荷を掛けることで我が社(家)の生き方・働き方を大幅にアップデートするチャンスと捉え、お借りすること

にしました。この3号畑では新しい農法にチャレンジします。巷では「たんじゅん農法(炭素循環農法)」と言われているようですが、古来よりある伝統的な農法です。土壌菌類を活性化させて農作物栽培をする無肥料無農薬栽培の一種ですが、人が野菜を育てるのではなく、微生物が野菜を育てるところに特徴があります。そのため人は畑で野菜ではなく微生物を飼育する感覚に近くなります。森のシステムを人為的に再現する農

法で、微生物の餌となる落ち葉はお宮の周りから無尽蔵に集めて来ることができます。

良い商品、良いサービス、良い会社は、すべて良い人材が作り出します。従って会社は良い人材づくりにこそ励まねばなりません。商品やサービスを農作物に、会社を畑に置き換えると、人材は微生物に置き換えられます。良い微生物を育むための「落ち葉」をたくさん供給すること。この農法は「会社経営」そのものと言えるかもしれません。(太)

### 今一度日本の会社を洗濯致し候

サムライ社長がダメな会社を成敗する You Tubeチャンネルを開設しました。成敗を希望するダメな会社事例を募集しています。「セクハラ・パワハラ・モラハラ当たり前」「仕事をテキパキこなしているのに、早く帰ると怒られる」「遅刻は厳罰、残業はサービス」などなど、仕事をしていて理不尽だと思うことが誰しもあるかと思えます。ダメな会社のダメなところをバッサバッサと斬り捨てて行くことで良い会社づくりにお役立ていただければとの思いで映像を制作しております。経営者の皆様におかれましては、自社のこういうところを正したい、というようなことがあれば是非事例の提供をお願い致します。その他ご意見ご感想もお待ちしておりますので、是非ご覧ください。こちらに特設ページをご用意しております。

<https://ccore.co.jp/seibai/> (太)

### ようこそ太仁亭へ!

6月から新しく耕し始めた2号畑では、手始めにさつまいもと里芋を育てました。どちらも地主さんから苗や種芋を頂いたのですが、この里芋が驚くほど美味しく感動しています。煮てよし、焼いてよし、揚げてよし。どう調理しても、若干塩味が薄くても美味しい。私の母がこの(多摩丘陵)界隈の里芋は美味しいと話していたのですが、土が適してい

るのでしょうか。来年はもっとたくさん育てたいとサムライ社長共々張り切っています。

さてこの里芋、太仁亭で一番の人気レシピは「フライド里芋」です。電子レンジで8分ほど蒸してから皮を剥き、素揚げして塩を振るというシンプルな料理ですが、カリッとしてねっとりして、その後に里芋の旨味を存分に味わうことができます。是非、お試しください。(仁)

### 武士道を仕事に活かす-7 「武士道の徳目-名誉」

義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義という武士道の7つの徳目の内、今回は5番目の誠について書きました。今回は、6番目の名誉について。武士にとって名誉とは命よりも大切なものさそうです。命より大切な名誉とは一体何なのでしょう。現代では、名誉とは功績に対して第三者から与えられるイメージが強いですが、武士道における名誉とは人から授かるものではなく自分の内にあるもの、すなわち、マイスタンダードです。武士とはかくあるべしに対し、反するところは

ないか、相応しいかどうか、恥ずべきところはないかなど、理想とする武士の行動規範であり生涯をかけて追い求める目標です。武家に生まれるとまず叩き込まれる精神性がこの名誉、つまり廉恥心であり、人に恥じるところのない立派な人間として生きることが大切にされていたことがわかります。我々社会人にとって、人として恥ずかしくない言動や立ち居振舞いは信頼に直結し、業績に影響を及ぼすもので、改めて見つめ直してみる価値があります。(太)

### 今月のお豆ちゃん

畑近くの広場にナツメの老木を見付けました。ナツメは薬膳で使われることしか知らなかったのですが、果実として生でも食べられるそうです。これは薬膳で使われている大きなナツメと違って日本の在来種だそうです。まるで小さなりんごのよう。食感もまさにりんご。小さな木の実に興味津々のお豆ちゃんは、畑からの帰路のおやつにしていました。(仁)



### 中秋の名月

10月1日に中秋の名月を眺めることができました。雲に隠れることなくその姿は美しく輝いていて、お豆ちゃんにはうさぎが見えたようです。どこにどんな風とうさぎが見えたのか説明してくれました。このうさぎ、月の方角や時刻によって違うものに見えるそうです。その中には、荷を背負っているように見えることから二宮金次郎の姿も紹介されていました。明け方の西の空に見えるそうです。(仁)

編集者：後藤紅仁子

kuniko-goto@ccore.co.jp

発行日：2020.10.26 霜降(そうこう) 霜始降(しもはじめてふる)

発行所：株式会社コンセプト・コア  
☎192-0373

八王子市上柚木 2-63-10

TEL/FAX 042-697-7473

<https://ccore.co.jp/>

過去号：ウェブサイト↑からご覧頂けます。